

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／資産複合	
信託期間	約6年5カ月間（2014年8月19日～2021年1月27日）	
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	ベビーファンド	イ、ダイワ・ブラジル国債マザーファンド<2021-01>の受益証券 ロ、ダイワ・オーストラリア小型株式マザーファンドの受益証券 ハ、ブラジル・リアル建てのブラジル国債
	ダイワ・ブラジル国債マザーファンド<2021-01>	ブラジル・リアル建てのブラジル国債
	ダイワ・オーストラリア小型株式マザーファンド	オーストラリアおよびニュージーランドの金融商品取引所上場（上場予定を含みます。）または店頭登録（登録予定を含みます。）の株式（DR（預託証券）を含みます。）
ベビーファンドの運用方法	①主として、マザーファンドを通じて、ブラジル・リアル建てのブラジル国債（※1）およびオーストラリアの小型株式等（※2）に投資することにより、信託財産の成長をめざします。また、マザーファンドを通じて、ニュージーランドの小型株式等（※2）にも投資します。 ※1 投資環境によっては、ダイワ・ブラジル国債マザーファンド<2021-01>に投資せず、直接、ブラジル・リアル建てのブラジル国債に投資することがあります。 ※2 小型株式等とは、アパディーン・アセット・マネジメント・リミテッドの独自の分類による小型の株式等をさします。なお、株式等には、DR（預託証券）、リート（不動産投資信託証券）を含みます。 ②設定当初の債券と株式等への投資比率はおおむね6：4とします。その後、為替や株価の値動き等により投資比率は変化します。 ③ブラジル国債への投資にあたっては、償還日が当ファンドの信託期間終了日に近い銘柄を中心とします。 ④小型株式等への投資にあたっては、以下の方針を基本とします。 イ、小型株式等の中から、流動性、信用リスク等を勘案し、投資対象銘柄を選定します。 ロ、投資対象銘柄の中から、経営戦略、ビジネス展望、財務体質等を考慮し、組入候補銘柄を選定します。 ハ、組入候補銘柄の中から、PERやPBR等のバリュエーション指標を、同一セクターの国内外の銘柄と比較することで、割安度を判断し、ポートフォリオを構築します。 ニ、アパディーン・アセット・マネジメント・リミテッドに運用の指図にかかる権限を委託します。 ⑤上記①～④にかかわらず、基準価額（1万口当たり。既払分配金を加算しません。以下⑥において同じ。）が一度でも15,000円を超えた場合、わが国の短期金融商品等による安定運用に順次切替えを行ない、ファンド全体が安定運用に入った後、繰上償還します。ただし、基準価額が15,000円を超えてから満期償還日までの期間が短い場合、繰上償還を行ないません。 ⑥為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。	
	組入制限	ベビーファンドの株式組入上限比率 無制限 ダイワ・ブラジル国債マザーファンド<2021-01>の株式組入上限比率 純資産総額の10%以下 ダイワ・オーストラリア小型株式マザーファンドの株式組入上限比率 無制限
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、信託財産の成長に資することを目的に、基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合は、分配を行わないことがあります。	

当ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行ないます。ファミリーファンド方式とは、受益者からの資金をまとめてベビーファンド（当ファンド）とし、その資金を主としてマザーファンドの受益証券に投資して、実質的な運用をマザーファンドで行なう仕組みです。

ツインアクセル（ブラジル国債&オーストラリア小型株式） 《2021-01》

運用報告書（全体版） 第2期 （決算日 2016年9月26日）

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「ツインアクセル（ブラジル国債&オーストラリア小型株式）《2021-01》」は、このたび、第2期の決算を行ないました。

ここに、期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

お問い合わせ先（コールセンター）

TEL 0120-106212

（営業日の9：00～17：00）

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

設定以来の運用実績

決算期	基準価額			S&P/A S X 200指数 (円換算)		ブラジル・リアル 為替レート		株式 組入比率	公社債 組入比率	投資信託 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率				
1期末 (2015年9月28日)	円 7,609	円 10	% △23.8	7,977	% △20.2	円 30.29	% △33.4	% 43.4	% 48.1	% 4.9	百万円 21,559
2期末 (2016年9月26日)	9,256	10	21.8	7,802	△ 2.2	31.07	2.6	37.4	51.7	5.6	13,470

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) S & P / A S X 200指数 (円換算) は、S & P / A S X 200指数 (オーストラリア・ドルベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。S & P / A S X 200指数 (オーストラリア・ドルベース) の所有権およびその他一切の権利は、S&P Dow Jones Indices LLCが有しています。S&P Dow Jones Indices LLCは、同指数の算出にかかる誤謬等に関し、いかなる者に対しても責任を負うものではありません。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

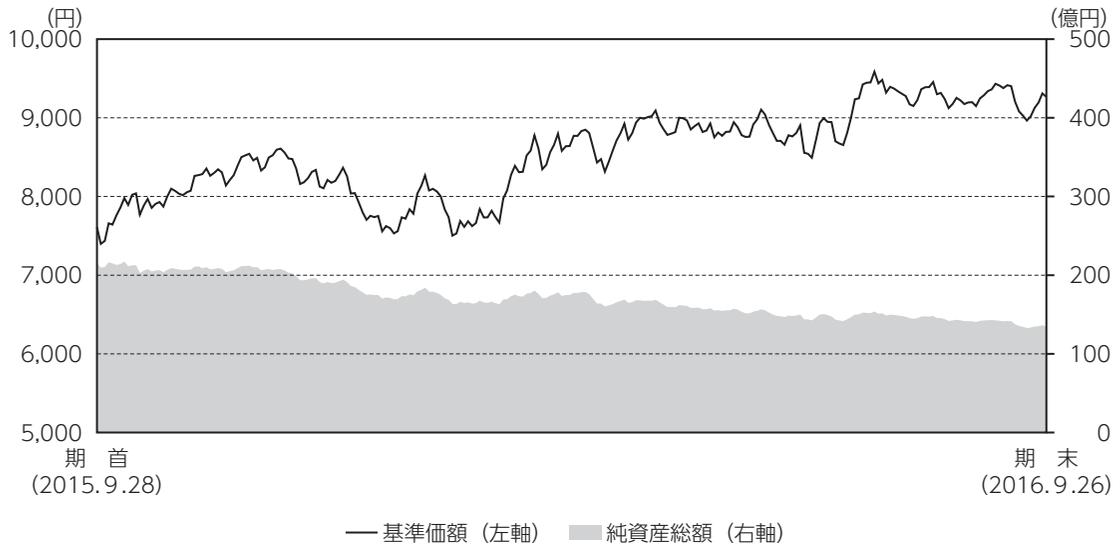
(注4) 為替レートは、計算日における対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートを採用しています。

(注5) 組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注6) 公社債組入比率は新株予約権付社債券 (転換社債券) および債券先物を除きます。

《運用経過》

基準価額等の推移について



(注) 期末の基準価額は分配金込みです。

■基準価額・騰落率

期首：7,609円

期末：9,256円 (分配金10円)

騰落率：21.8% (分配金込み)

■組入ファンドの当期中の騰落率

組入ファンド	騰落率
ダイワ・ブラジル国債マザーファンド《2021-01》	33.4%
ダイワ・オーストラリア小型株式マザーファンド	14.9%

■基準価額の主な変動要因

当期の基準価額は、主に、保有するオーストラリア株式やブラジル債券の価格が上昇したことなどがプラス要因となり、上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ツインアクセル（ブラジル国債&オーストラリア小型株式） <<2021-01>>

年 月 日	基 準 価 額		S & P / A S X 200 指数 (円 換 算)		ブラジル・リアル 為 替 レ ー ト		株 式 組 入 率 公 社 比	債 率 組 入 比	投 資 信 託 組 入 比
	騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率					
(期首)2015年 9月28日	円 7,609	% -	7,977	% -	円 30.29	% -	% 43.4	% 48.1	% 4.9
9 月末	7,437	△ 2.3	7,729	△3.1	29.53	△2.5	42.7	47.5	4.8
10月末	8,054	5.8	8,465	6.1	31.39	3.6	42.7	47.1	4.9
11月末	8,330	9.5	8,571	7.4	31.93	5.4	43.1	46.3	5.1
12月末	8,365	9.9	8,658	8.5	31.18	2.9	44.5	44.0	5.3
2016年 1 月末	8,037	5.6	7,969	△0.1	29.70	△1.9	43.8	47.3	5.0
2 月末	7,737	1.7	7,385	△7.4	28.41	△6.2	42.9	47.7	5.4
3 月末	8,831	16.1	8,079	1.3	31.25	3.2	39.9	49.1	5.5
4 月末	8,939	17.5	8,088	1.4	31.10	2.7	39.0	49.9	5.7
5 月末	8,944	17.5	8,070	1.2	31.07	2.6	39.3	49.7	5.9
6 月末	8,934	17.4	7,377	△7.5	31.94	5.4	36.7	51.9	5.5
7 月末	9,337	22.7	8,161	2.3	31.68	4.6	38.5	51.1	5.9
8 月末	9,285	22.0	7,938	△0.5	31.84	5.1	38.0	52.0	5.7
(期末)2016年 9月26日	9,266	21.8	7,802	△2.2	31.07	2.6	37.4	51.7	5.6

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について**○ブラジル債券市況**

ブラジル債券金利は期を通じて低下（価格は上昇）しました。2015年の後半は、景気低迷が続く中で税収が想定以上に落ち込んだため基礎的財政収支の黒字目標値が下方修正されたことや、政府と議会との対立により追加増税法案の成立が遅延したこと、緊縮財政に積極的な財務大臣の辞任により財政懸念が高まったことなどから、金利は上昇しました。しかし2016年に入ると、ブラジル中央銀行の金融政策への姿勢に、従来のインフレ沈静化から転換する発言が見られたことで、景気支援の利下げへ転換するとの市場の思惑から、大幅に金利は低下しました。その後も、指導力が低下したルセフ大統領に対する弾劾への期待が高まるに連れ、政権交代による社会刷新期待から、金利低下が進みました。

○オーストラリア株式市況

オーストラリア株式市況は、期首から2015年12月末にかけて、原油や鉄鉱石を中心とした商品市況が下落したことなどが嫌気され、上値の重い展開となりました。その後、中国の株式市況や中国・人民元の急落、米国の利上げ継続に対する不透明感、一部欧州の銀行の信用力への懸念などから投資家のリスク回避姿勢が強まり、2016年2月中旬にかけて下落基調となりました。5月下旬にかけては、ECB（欧州中央銀行）総裁の金融緩和策への言及や主要原油産出国が生産量維持で合意したことによる原油価格の反発などが支援材料となり、上昇しました。その後は、6月に英国の国民投票でEU（欧州連合）からの離脱が選択されたことを受けて下落する場面がありましたが、良好な米国経済指標や英国および各国の中央銀行が政策協調により市場の混乱に立ち向かうと表明したこと、石炭や鉄鉱石価格が上昇したことなどを受けて、7月末にかけて上昇基調となりました。期末にかけては、米国の早期利上げ観測の再燃などを受けて、上値の重い展開となりました。

○為替相場

対円から見たオーストラリア・ドルは、期首から2015年12月初旬にかけて、堅調な雇用統計を受けたRBA（オーストラリア準備銀行）による早期利下げ観測の後退や日銀の追加金融緩和観測などが支援材料となり、上昇しました。その後、短期的に上昇する局面もありましたが、RBAによる追加利下げ、英国の国民投票をめぐる混乱から投資家のリスク回避姿勢が強まったこと、米国の早期追加利上げ観測が後退したことなどを受けて、2016年6月下旬にかけて下落しました。期末にかけては、材料難の中、ボックス圏での推移となりました。

ブラジル・レアルは対円で上昇しました。期首より、中央銀行の利上げにもかかわらずインフレ率の高止まりが続き景気低迷の継続が懸念されたほか、財政再建に対する不信感から格付けが引き下げられたことがレアルの下落圧力となりました。また、米国の金融政策正常化に伴う新興国からの資本流出懸念や主要輸出相手国である中国の経済低迷なども、レアルの下落圧力となりました。しかし2016年3月に入ると、原油価格が反発し株式市況が上昇するなどリスク回避姿勢が和らいだこと、汚職捜査が政権中枢へ近づくに連れて政権交代期待が高まったこと、ルセフ大統領の弾劾手続きが進展したことにより、レアルは上昇基調となりました。その後も、財政再建策に対する期待感などからレアルは堅調な展開となりました。

前期における「今後の運用方針」

○当ファンド

「ダイワ・ブラジル国債マザーファンド≪2021-01≫」の受益証券と「ダイワ・オーストラリア小型株式マザーファンド」の受益証券の合計の組入比率を信託財産の純資産総額の100%に近づける方針です。

○ダイワ・ブラジル国債マザーファンド≪2021-01≫

償還までの期間が当ファンドの信託期間に近いブラジル国債（クーポン10%、2021年1月償還）の保有を継続し、債券利金についても同じ債券に再投資します。

○ダイワ・オーストラリア小型株式マザーファンド

当ファンドは、オーストラリアの小型株式等に投資を行ない、信託財産の成長をめざして運用を行います。オーストラリア株式市場については、オーストラリアを含む世界経済見通しや商品市況の動向をにらみながら、値動きの大きな相場展開が続く見通しです。マクロ経済では、中国を筆頭に新興国経済の先行き不透明感が継続していることが懸念材料ですが、新首相の就任、低金利政策の継続、低インフレ、オーストラリア・ドル安などが支援材料です。また、新たなインフラ（社会基盤）投資が資源主導型の設備投資の縮小を補てんし、住宅価格も安定して推移するとの見方から、慎重ながらも楽観的な見通しを維持しています。小型株式の株価バリュエーションについては、最近の株価調整を受けて、安定した収益成長や魅力的な配当利回りを勘案すると、歴史的な観点からのみならず国外企業との相対比較でも割安度が増しています。引き続き、現金創出力と健全な財務体質を備えた企業に重点を置き、中長期的に持続可能な収益成長が期待できる企業を保有し、ディフェンシブなポートフォリオを維持していく方針です。

外貨建資産の運用にあたっては、アバディーン・アセット・マネジメント・リミテッドに運用の指図にかかる権限を委託し、今後の運用を行なっております。

ポートフォリオについて

○当ファンド

当ファンドは、「ダイワ・ブラジル国債マザーファンド≪2021-01≫」の受益証券と「ダイワ・オーストラリア小型株式マザーファンド」の受益証券の合計の組入比率を信託財産の純資産総額の100%に近づけて運用しました。

○ダイワ・ブラジル国債マザーファンド≪2021-01≫

償還までの期間が当ファンドの信託期間に近いブラジル国債（クーポン10%、2021年1月償還）を保有し、債券利金についても同じ債券に再投資しました。

○ダイワ・オーストラリア小型株式マザーファンド

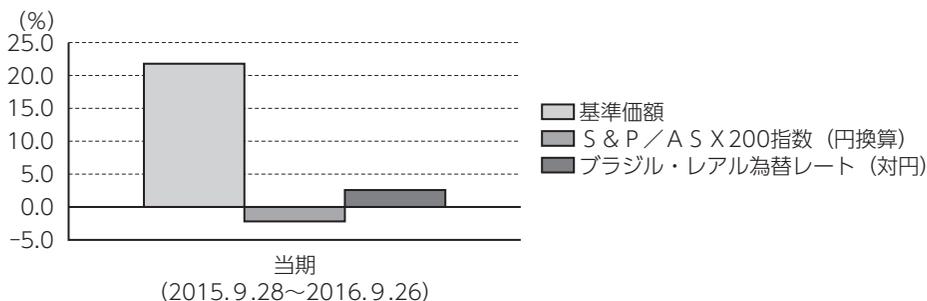
期中の投資行動としては、オーストラリアおよびニュージーランドのメディア情報の収集・分析市場で高いシェアを占めていることに加え、利益率が高く強固な財務体質であることなどを評価したメディア向けインテリジェンス・ソフト・ソリューションおよびシステムのプロバイダーのISENTIA GROUP（情報技術）、中核商品の競争力や安定したキャッシュフロー、新興国を中心とした世界的な産業成長による恩恵が期待される映画業界に特化したソフトウェアおよびデータ分析会社のVISTA GROUP INTERNATIONAL（情報技術）などを新規に組み入れました。

当期は、財務管理と会計用ソフトの売上拡大などが期待されたTECHNOLOGY ONE（情報技術）、相対的に財務体質が健全で安定した利益成長を続けていることに加え米国等の海外での成長も期待されるARB CORP LTD（一般消費財・サービス）、賃料の上昇期待や魅力的なバリュエーションなどを評価したSHOPPING CENTRES AUSTRALASIA（リート）、潤沢なキャッシュフローを持ち経営陣の株主還元姿勢などが支援材料となったSPARK NEW ZEALAND LTD（電気通信サービス）などを高位としました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは、運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



分配金について

当期の1万口当り分配金（税込み）は10円といたしました。

収益分配金の決定根拠は下記の「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	当 期	
	2015年9月29日 ～2016年9月26日	
当期分配金（税込み）（円）		10
対基準価額比率（％）		0.11
当期の収益（円）		10
当期の収益以外（円）		—
翌期繰越分配対象額（円）		1,181

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	546.50円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00
(c) 収益調整金	15.25
(d) 分配準備積立金	629.26
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	1,191.02
(f) 分配金	10.00
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)	1,181.02

(注) 下線を付した該当項目から分配金を計上しています。

《今後の運用方針》

○当ファンド

「ダイワ・ブラジル国債マザーファンド《2021-01》」の受益証券と「ダイワ・オーストラリア小型株式マザーファンド」の受益証券の合計の組入比率を信託財産の純資産総額の100%に近づける方針です。

○ダイワ・ブラジル国債マザーファンド《2021-01》

引き続き、償還までの期間が当ファンドの信託期間に近いブラジル国債（クーポン10%、2021年1月償還）の保有を継続し、債券利金についても同じ債券に再投資します。

○ダイワ・オーストラリア小型株式マザーファンド

オーストラリアの小型株式等に投資を行ない、信託財産の成長をめざして運用を行ないます。オーストラリア株式市況については、慎重ながらも楽観的な見通しを維持しています。マクロ経済では、中国経済に対する先行き不透明感が懸念材料ですが、低金利政策の継続、低インフレ、オーストラリア・ドル安などが支援材料です。また、新たなインフラ投資が資源主導型の設備投資の縮小を補てんし、住宅価格も安定して推移するものとみています。引き続き、現金創出力と健全な財務体質を備えた企業に重点を置き、中長期的に持続可能な収益成長が期待できる企業を保有し、ディフェンシブなポートフォリオを維持していく方針です。

外貨建資産の運用にあたっては、アバディーン・アセット・マネジメント・リミテッドに運用の指図にかかる権限を委託し、今後の運用を行なってまいります。

1 万口当りの費用の明細

項 目	当期		項 目 の 概 要
	(2015.9.29~2016.9.26)		
	金 額	比 率	
信託報酬	153円	1.794%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は8,551円です。
（投信会社）	(75)	(0.881)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価
（販売会社）	(73)	(0.859)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受託銀行）	(5)	(0.054)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	3	0.030	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権総口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（株式）	(2)	(0.028)	
（投資信託証券）	(0)	(0.001)	
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
その他費用	9	0.109	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
（保管費用）	(9)	(0.101)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
（監査費用）	(1)	(0.008)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	165	1.932	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■売買および取引の状況

親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2015年9月29日から2016年9月26日まで)

項目	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
ダイウ・ブラジル国債マザーファンド《2021-01》	-	-	7,218,988	6,069,300
ダイウ・オーストラリア小型株式マザーファンド	-	-	5,506,201	5,855,700

(注) 単位未満は切捨て。

■株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

(2015年9月29日から2016年9月26日まで)

項 目	当 期	
	ダイウ・オーストラリア小型株式マザーファンド	
(a) 期中の株式売買金額	6,247,266千円	
(b) 期中の平均組入株式時価総額	7,219,079千円	
(c) 売買高比率(a)/(b)	0.86	

(注1) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注2) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況

当期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

親投資信託残高

種 類	期 首		当 期 末	
	口 数	評 価 額	口 数	評 価 額
	千口	千円	千口	千円
ダイウ・ブラジル国債マザーファンド《2021-01》	14,492,400	7,273,412	7,187,586	7,187,586
ダイウ・オーストラリア小型株式マザーファンド	11,060,854	5,554,652	6,190,104	6,190,104

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2016年9月26日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
ダイウ・ブラジル国債マザーファンド《2021-01》	7,187,586	52.0
ダイウ・オーストラリア小型株式マザーファンド	6,190,104	44.8
コール・ローン等、その他	437,179	3.2
投資信託財産総額	13,814,870	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、9月26日における邦貨換算レートは、1オーストラリア・ドル=76.84円、1ニュージーランド・ドル=73.03円、1ブラジル・レアル=31.07円です。

(注3) ダイウ・ブラジル国債マザーファンド《2021-01》において、当期末における外貨建純資産(10,135,514千円)の投資信託財産総額(10,325,114千円)に対する比率は、98.2%です。
ダイウ・オーストラリア小型株式マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産(6,149,552千円)の投資信託財産総額(6,291,360千円)に対する比率は、97.7%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2016年9月26日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	13,814,870,169円
コール・ローン等	217,179,033
ダイウ・ブラジル国債マザーファンド《2021-01》(評価額)	7,187,586,142
ダイウ・オーストラリア小型株式マザーファンド(評価額)	6,190,104,994
未収入金	220,000,000
(B) 負債	344,519,053
未払収益分配金	14,553,666
未払解約金	192,880,049
未払信託報酬	136,472,530
その他未払費用	612,808
(C) 純資産総額(A-B)	13,470,351,116
元本	14,553,666,206
次期繰越損益金	△1,083,315,090
(D) 受益権総口数	14,553,666,206口
1万口当り基準価額(C/D)	9,256円

*期首における元本額は28,334,514,978円、当期中における追加設定元本額は0円、同解約元本額は13,780,848,772円です。

*当期末の計算口数当りの純資産額は9,256円です。

*当期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は1,083,315,090円です。

■損益の状況

当期 自2015年9月29日 至2016年9月26日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 6,270円
受取利息	37,136
支払利息	△ 43,406
(B) 有価証券売買損益	2,719,581,784
売買益	3,665,223,654
売買損	△ 945,641,870
(C) 信託報酬等	△ 308,595,935
(D) 当期損益金(A+B+C)	2,410,979,579
(E) 前期繰越損益金	△3,501,944,685
(F) 追加信託差損益金(配当等相当額)	22,203,682
(売買損益相当額)	(6,838,925)
(G) 合計(D+E+F)	△1,068,761,424
(H) 収益分配金	△ 14,553,666
次期繰越損益金(G+H)	△1,083,315,090
追加信託差損益金(配当等相当額)	22,203,682
(売買損益相当額)	(6,838,925)
(売買損益相当額)	(15,364,757)
分配準備積立金	1,696,616,524
繰越損益金	△2,802,135,296

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本の差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は11ページの「収益分配金の計算過程(総額)」の表をご参照ください。

(注4) 投資信託財産(親投資信託)の運用の指図に係る権限の全部または一部を委託するために要する費用:66,322,342円(未監査)

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	795,363,413円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c) 収益調整金	22,203,682
(d) 分配準備積立金	915,806,777
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	1,733,373,872
(f) 分配金	14,553,666
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)	1,718,820,206
(h) 受益権総口数	14,553,666,206口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ	
1 万 口 当 り 分 配 金	10円

分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・普通分配金については、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税（配当控除の適用はありません。）を選択することもできます。
- ・法人の受益者の場合、税率が異なります。
- ・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
- ・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

ダイワ・ブラジル国債マザーファンド《2021-01》

運用報告書 第3期（決算日 2016年9月26日）

（計算期間 2015年9月29日～2016年9月26日）

ダイワ・ブラジル国債マザーファンド《2021-01》の第3期にかかる運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	ブラジル・リアル建てのブラジル国債
運用方法	①主として、ブラジル・リアル建てのブラジル国債に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。 ②ブラジル国債への投資にあたっては、償還までの期間が当ファンドの信託期間に近い銘柄を中心とします。 ③為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。
株式組入制限	純資産総額の10%以下

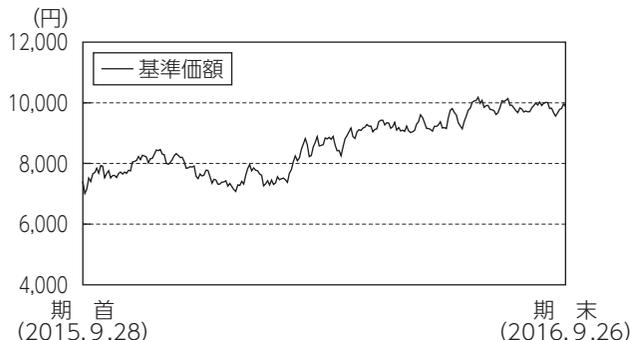
大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

■当期中の基準価額と市況の推移



年 月 日	基 準 価 額		ブラジル・レアル為替レート (参考指数)		公 社 債 組入比率
	円	騰落率 %	円	騰落率 %	%
(期首)2015年 9月28日	7,407	-	30.29	-	96.6
9月末	7,158	△ 3.4	29.53	△2.5	96.9
10月末	7,775	5.0	31.39	3.6	95.8
11月末	8,009	8.1	31.93	5.4	94.6
12月末	7,769	4.9	31.18	2.9	93.4
2016年 1月末	7,612	2.8	29.70	△1.9	98.5
2月末	7,457	0.7	28.41	△6.2	97.8
3月末	8,861	19.6	31.25	3.2	96.8
4月末	9,230	24.6	31.10	2.7	95.9
5月末	9,229	24.6	31.07	2.6	95.5
6月末	9,758	31.7	31.94	5.4	94.5
7月末	9,783	32.1	31.68	4.6	97.1
8月末	9,907	33.8	31.84	5.1	97.3
(期末)2016年 9月26日	9,882	33.4	31.07	2.6	97.0

(注1) 騰落率は期首比。

(注2) 為替レートは、計算日における対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートを採用しています。

(注3) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：7,407円 期末：9,882円 騰落率：33.4%

【基準価額の主な変動要因】

投資している債券の利息収入や債券価格の値上がり、またブラジル・レアルが円に対して上昇したことから、基準価額は上昇しました。

◆投資環境について

○ブラジル債券市況

金利は期を通じて低下（債券価格は上昇）しました。

2015年後半のブラジル債券市況は、景気低迷が続く中で税収が想定以上に落ち込んだため基礎的財政収支の黒字目標値が下方修正されたことや、政府と議会との対立により追加増税法案の成立が遅延したこと、緊縮財政に積極的な財務大臣の辞任により財政懸念が高まったことなどから、金利は上昇しました。しかし2016年に入ると、ブラジル中央銀行の金融政策への姿勢に、従来のインフレ沈静化から転換する発言が見られたことで、景気支援の利下げへ転換

すると市場の思惑から、大幅に金利は低下しました。その後も、指導力が低下したルセフ大統領に対する弾劾への期待が高まるに連れ、政権交代による社会刷新期待から、金利低下が進みました。

○為替相場

ブラジル・レアルは対円で上昇しました。

期首より、中央銀行の利上げにもかかわらずインフレ率の高止まりが続き、景気低迷の継続が懸念されたほか、財政再建に対する不信感から格付けが引き下げられたことがレアルの下落圧力となりました。また、米国の金融政策正常化に伴う新興国からの資本流出懸念や主要輸出相手国である中国の経済低迷なども、レアルの下落圧力となりました。しかし2016年3月に入ると、原油価格が反発し株式市場が上昇するなどリスク回避姿勢が和らいだこと、汚職捜査が政権中枢へ近づくに連れて政権交代期待が高まったこと、ルセフ大統領の弾劾手続きが進展したことで、レアルは上昇基調となりました。その後も、財政再建策に対する期待感などからレアルは堅調な展開となりました。

◆前期における「今後の運用方針」

償還までの期間が当ファンドの信託期間に近いブラジル国債（クーポン10%、2021年1月償還）の保有を継続し、債券利金についても同じ債券に再投資します。

◆ポートフォリオについて

当ファンドは、償還までの期間が当ファンドの信託期間に近いブラジル国債（クーポン10%、2021年1月償還）を保有し、債券利金についても同じ債券に再投資しました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

当期の当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率は、「当期中の基準価額と市況の推移」をご参照ください。

《今後の運用方針》

引き続き、償還までの期間が当ファンドの信託期間に近いブラジル国債（クーポン10%、2021年1月償還）の保有を継続し、債券利金についても同じ債券に再投資します。

■ 1 万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料	—円
有価証券取引税	—
その他費用 (保管費用)	13 (13)
合 計	13

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。費用の項目および算出法については前掲の「1 万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。

(注2) 各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

■ 売買および取引の状況

公 社 債

(2015年9月29日から2016年9月26日まで)

			買 付 額	売 付 額
外 国	ブラジル	国債証券	千ブラジル・レアル 11,981	千ブラジル・レアル 213,629 (—)

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。

(注2) ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 単位未満は切捨て。

■ 主要な売買銘柄

公 社 債

(2015年9月29日から2016年9月26日まで)

当		期	
買	付	売	付
銘	柄	銘	柄
金 額		金 額	
千円		千円	
Brazil Notas do Tesouro Nacional Serie F(ブラジル) 10% 2021/1/1	355,849	Brazil Notas do Tesouro Nacional Serie F(ブラジル) 10% 2021/1/1	6,649,391

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。

(注2) 単位未満は切捨て。

■ 組入資産明細表

(1) 外国（外貨建）公社債（通貨別）

作 成 期	当		期		末			
	額 面 金 額	評 価 額		組 入 比 率	う ち B B 格 以下組入比率	残 存 期 間 別 組 入 比 率		
		外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額			5 年 以 上	2 年 以 上	2 年 未 満
区 分	千円	千円	千円	%	%	%	%	%
ブラジル	千ブラジル・レアル 334,170	千ブラジル・レアル 317,057	9,850,965	97.0	97.0	—	97.0	—

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注3) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

(2) 外国（外貨建）公社債（銘柄別）

区 分	当		期		末		償 還 年 月 日	
	銘	柄	種 類	年 利 率	額 面 金 額	評 価 額		
						外 貨 建 金 額		邦 貨 換 算 金 額
千円	千円	千円	%	千円	千円	千円		
ブラジル	Brazil Notas do Tesouro Nacional Serie F	国 債 証 券	10.0000	%	千ブラジル・レアル 334,170	千ブラジル・レアル 317,057	9,850,965	2021/01/01

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

ダイワ・ブラジル国債マザーファンド<<2021-01>>

■投資信託財産の構成

2016年9月26日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公社債	9,850,965	95.4
コール・ローン等、その他	474,148	4.6
投資信託財産総額	10,325,114	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、9月26日における邦貨換算レートは、1ブラジル・リアル=31.07円です。

(注3) 当期末における外貨建純資産(10,135,514千円)の投資信託財産総額(10,325,114千円)に対する比率は、98.2%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2016年9月26日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	10,344,843,560円
コール・ローン等	146,625,881
公社債(評価額)	9,850,965,784
未収入金	97,805,376
未収利息	249,446,519
(B) 負債	186,829,450
未払金	19,729,450
未払解約金	167,100,000
(C) 純資産総額(A-B)	10,158,014,110
元本	10,279,561,070
次期繰越損益金	△ 121,546,960
(D) 受益権総口数	10,279,561,070口
1万口当り基準価額(C/D)	9,882円

*期首における元本額は19,357,736,974円、当期中における追加設定元本額は0円、同解約元本額は9,078,175,904円です。

*当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、成果リレー(ブラジル国債&日本株エクセレント)2014-09 324,580,586円、ツインアクセル(ブラジル国債&オーストラリア小型株式)<<2021-01>> 7,273,412,409円、ツインアクセル(ブラジル国債&世界小型株式)<<2021-01>> 2,681,568,075円です。

*当期末の計算口数当りの純資産額は9,882円です。

*当期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は121,546,960円です。

■損益の状況

当期 自2015年9月29日 至2016年9月26日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	1,309,092,151円
受取利息	1,309,111,869
支払利息	△ 19,718
(B) 有価証券売買損益	2,218,555,589
売買益	2,269,750,960
売買損	△ 51,195,371
(C) その他費用	△ 19,288,551
(D) 当期損益金(A+B+C)	3,508,359,189
(E) 前期繰越損益金	△ 5,020,082,053
(F) 解約差損益金	1,390,175,904
(G) 合計(D+E+F)	△ 121,546,960
次期繰越損益金(G)	△ 121,546,960

(注) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

ダイワ・オーストラリア小型株式マザーファンド

運用報告書 第2期（決算日 2016年9月26日）

（計算期間 2015年9月29日～2016年9月26日）

ダイワ・オーストラリア小型株式マザーファンドの第2期にかかる運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	オーストラリアおよびニュージーランドの金融商品取引所上場（上場予定を含みます。）または店頭登録（登録予定を含みます。）の株式（DR（預託証券）を含みます。）
運用方法	<p>①主として、オーストラリアの小型株式等（※）に投資することにより、信託財産の成長をめざします。また、ニュージーランドの小型株式等（※）にも投資します。</p> <p>※小型株式等とは、アバディーン・アセット・マネジメント・リミテッドの独自の分類による小型の株式等をさします。なお、株式等には、DR（預託証券）、リート（不動産投資信託証券）を含みます。</p> <p>②投資にあたっては、以下の方針を基本とします。</p> <p>イ. 小型株式等の中から、流動性、信用リスク等を勘案し、投資対象銘柄を選定します。</p> <p>ロ. 投資対象銘柄の中から、経営戦略、ビジネス展望、財務体質等を考慮し、組入候補銘柄を選定します。</p> <p>ハ. 組入候補銘柄の中から、PERやPBR等のバリュエーション指標を、同一セクターの国内外の銘柄と比較することで、割安度を判断し、ポートフォリオを構築します。</p> <p>③外貨建資産の運用にあたっては、アバディーン・アセット・マネジメント・リミテッドに運用の指図にかかる権限を委託します。</p> <p>④株式等の組入比率は、通常の状態でも高位に維持することを基本とします。</p> <p>⑤為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。</p>
株式組入制限	無制限

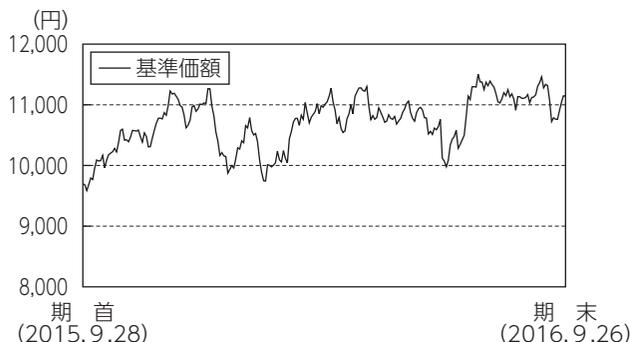
大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

■当期中の基準価額と市況の推移



年月日	基準価額		S&P/ASX200指数 (円換算)		株式組入比率		投資信託証券 組入比率	
	円	騰落率	(参考指数)	騰落率	%	%	%	%
(期首)2015年9月28日	9,701	-	7,977	-	87.1	9.9		
9月末	9,587	△1.2	7,729	△3.1	85.1	9.6		
10月末	10,391	7.1	8,465	6.1	85.0	9.8		
11月末	10,827	11.6	8,571	7.4	85.2	10.0		
12月末	11,265	16.1	8,658	8.5	85.1	10.1		
2016年1月末	10,657	9.9	7,969	△0.1	85.2	9.8		
2月末	10,117	4.3	7,385	△7.4	84.9	10.7		
3月末	11,142	14.9	8,079	1.3	81.9	11.2		
4月末	10,970	13.1	8,088	1.4	82.5	12.0		
5月末	11,023	13.6	8,070	1.2	82.9	12.3		
6月末	10,338	6.6	7,377	△7.5	82.6	12.4		
7月末	11,390	17.4	8,161	2.3	82.3	12.7		
8月末	11,129	14.7	7,938	△0.5	82.9	12.4		
(期末)2016年9月26日	11,144	14.9	7,802	△2.2	81.3	12.3		

(注1) 騰落率は期首比。
 (注2) S&P/ASX200指数(円換算)は、S&P/ASX200指数(オーストラリア・ドルベース)をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。S&P/ASX200指数(オーストラリア・ドルベース)の所有権およびその他一切の権利は、S&P Dow Jones Indices LLCが有しています。S&P Dow Jones Indices LLCは、同指数の算出にかんる誤謬等に関し、いかなる者に対しても責任を負うものではありません。
 (注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】
 期首：9,701円 期末：11,144円 騰落率：14.9%
 【基準価額の主な変動要因】

当期の基準価額は、保有するオーストラリア小型株式の上昇がプラス要因となり、上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

◆投資環境について

○オーストラリア株式市況

オーストラリア株式市況は、期首から2015年12月末にかけて、原油や鉄鉱石を中心とした商品市況が下落したことなどが嫌気され、上値の重い展開となりました。その後、中国の株式市況や中国・人民元の急落、米国の利上げ継続に対する不透明感、一部欧州の銀行

の信用力への懸念などから投資家のリスク回避姿勢が強まり、2016年2月中旬にかけて下落基調となりました。5月下旬にかけては、ECB(欧州中央銀行)総裁の金融緩和策への言及や主要原油産出国が生産量維持で合意したことによる原油価格の反発などが支援材料となり、上昇しました。その後は、6月に英国の国民投票でEU(欧州連合)からの離脱が選択されたことを受けて下落する場面がありましたが、良好な米国経済指標や英国および各国の中央銀行が政策協調により市場の混乱に立ち向かうと表明したこと、石炭や鉄鉱石価格が上昇したことなどを受けて、7月末にかけては上昇基調となりました。期末にかけては、米国の早期利上げ観測の再燃などを受けて、上値の重い展開となりました。

○為替相場

対円から見たオーストラリア・ドルは、期首から2015年12月初旬にかけて、堅調な雇用統計を受けたRBA(オーストラリア準備銀行)による早期利下げ観測の後退や日銀の追加金融緩和観測などが支援材料となり、上昇しました。その後、短期的に上昇する局面もありましたが、RBAによる追加利下げ、英国の国民投票をめぐる混乱から投資家のリスク回避姿勢が強まったこと、米国の早期追加利上げ観測が後退したことなどを受けて、2016年6月下旬にかけて下落しました。期末にかけては、材料難の中、ボックス圏での推移となりました。

◆前期における「今後の運用方針」

当ファンドは、オーストラリアの小型株式等に投資を行ない、信託財産の成長をめざして運用を行ないます。オーストラリア株式市場については、オーストラリアを含む世界経済見通しや商品市況の動向にらみながら、値動きの大きな相場展開が続く見通しです。マクロ経済では、中国を筆頭に新興国経済の先行き不透明感が継続していることが懸念材料ですが、新首相の就任、低金利政策の継続、低インフレ、オーストラリア・ドル安などが支援材料です。また、新たなインフラ(社会基盤)投資が資源主導型の設備投資の縮小を補てんし、住宅価格も安定して推移するとの見方から、慎重ながらも楽観的な見通しを維持しています。小型株式の株価バリュエーションについては、最近の株価調整を受けて、安定した収益成長や魅力的な配当利回りを勘案すると、歴史的な観点からのみならず国外企業との相対比較でも割安度が増しています。引き続き、現金創出力と健全な財務体質を備えた企業に重点を置き、中長期的に持続可能な収益成長が期待できる企業を保有し、ディフェンシブなポートフォリオを維持していく方針です。

外貨建資産の運用にあたっては、アパディーン・アセット・マネジメント・リミテッドに運用の指図にかかる権限を委託し、今後の運用を行なってまいります。

◆ポートフォリオについて

期中の投資行動としては、オーストラリアおよびニュージーランドのメディア情報の収集・分析市場で高いシェアを占めていることに加え、利益率が高く強固な財務体質であることなどを評価したメディア向けインテリジェンス・ソフト・ソリューションおよびシステムのプロバイダーのISENTIA GROUP(情報技術)、中核商品の競争力や安定したキャッシュフロー、新興国を中心とした世界的な産業成長による恩恵が期待される映画業界に特化したソフトウェアおよびデータ分析会社のVISTA GROUP INTERNATIONAL(情報技術)などを新規に組み入れました。

当期は、財務管理と会計用ソフトの売上拡大などが期待されたTECHNOLOGY ONE(情報技術)、相対的に財務体質が健全で安定した利益成長を続けていることに加え米国等の海外での成長も期待されるARB CORP LTD(一般消費財・サービス)、賃料の上昇期待や魅力的なバリュエーションなどを評価したSHOPPING CENTRES AUSTRALASIA(リート)、潤沢なキャッシュフローを持ち経営陣の株主還元姿勢などが支援材料となったSPARK NEW ZEALAND LTD

(電気通信サービス)などを高位としました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは、運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

当期の参考指数 (S & P / A S X 200 指数 (円換算)) の騰落率は△2.2%となりました。一方、当ファンドの騰落率は14.9%となりました。なお、当ファンドは主にオーストラリアの小型株式等を投資対象としていますが、参考指数はオーストラリアの代表的な指数として掲載しています。

《今後の運用方針》

オーストラリアの小型株式等に投資を行ない、信託財産の成長をめざして運用を行ないます。オーストラリア株式市況については、慎重ながらも楽観的な見通しを維持しています。マクロ経済では、中国経済に対する先行き不透明感が懸念材料ですが、低金利政策の継続、低インフレ、オーストラリア・ドル安などが支援材料です。また、新たなインフラ投資が資源主導型の設備投資の縮小を補って、住宅価格も安定して推移するものとみています。引き続き、現金創出力と健全な財務体質を備えた企業に重点を置き、中長期的に持続可能な収益成長が期待できる企業を保有し、ディフェンシブなポートフォリオを維持していく方針です。

外貨建資産の運用にあたっては、アパディーン・アセット・マネジメント・リミテッドに運用の指図にかかる権限を委託し、今後の運用を行なってまいります。

■ 1万口当りの費用の明細

項目	当期
売買委託手数料 (株式)	7円 (6)
(投資信託証券)	(0)
有価証券取引税	—
その他費用 (保管費用)	5 (5)
(その他)	(0)
合計	12

(注1) 期中の費用 (消費税のかかるものは消費税を含む) は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。費用の項目および算出法については前掲の「1万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。

(注2) 各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

■ 売買および取引の状況

(1) 株式

(2015年9月29日から2016年9月26日まで)

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
外 国	オーストラリア	百株 15,422.36 (△ 7,865)	千オーストラリア・ドル 6,539 (△2,084)	百株 123,669.64	千オーストラリア・ドル 58,045
	ニュージーランド	百株 (—)	千ニュージーランド・ドル (—)	百株 112,614.03	千ニュージーランド・ドル 11,404

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) ()内は株式分割、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 金額の単位未満は切捨て。

(2) 投資信託証券

(2015年9月29日から2016年9月26日まで)

		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
外 国	オーストラリア	千口 405 (—)	千オーストラリア・ドル 1,038 (—)	千口 1,782.2 (—)	千オーストラリア・ドル 4,726 (—)

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 買付()内は分割割当、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 売付()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

(注4) 金額の単位未満は切捨て。

ダイワ・オーストラリア小型株式マザーファンド

■主要な売買銘柄 株式

(2015年9月29日から2016年9月26日まで)

当				期			
買		付		売		付	
銘柄	株数	金額	平均単価	銘柄	株数	金額	平均単価
	千株	千円	円		千株	千円	円
ISENTIA GROUP LTD (オーストラリア)	439.1	148,205	337	TECHNOLOGY ONE LTD (オーストラリア)	1,241.7	484,997	390
VISTA GROUP INTERNATIONAL LT (ニュージーランド)	238.1	101,045	424	BRICKWORKS LTD (オーストラリア)	324.6	415,611	1,280
3P LEARNING LTD (オーストラリア)	449,536	76,532	170	MILLENNIUM & COPTHORNE HOTEL (ニュージーランド)	3,183,973	388,321	121
BLACKMORES LTD (オーストラリア)	4.6	52,449	11,402	INVOCARE LTD (オーストラリア)	372	384,158	1,032
NIB HOLDINGS LTD (オーストラリア)	121	37,778	312	AUCKLAND INTL AIRPORT LTD (ニュージーランド)	779.3	359,712	461
SPARK NEW ZEALAND LTD (ニュージーランド)	126	33,527	266	NIB HOLDINGS LTD (オーストラリア)	1,044.2	344,981	330
SAI GLOBAL LTD (オーストラリア)	77.4	28,982	374	BAPCOR LTD (オーストラリア)	840.1	318,366	378
INVOCARE LTD (オーストラリア)	27.1	27,289	1,006	SPARK NEW ZEALAND LTD (ニュージーランド)	1,077.9	286,055	265
FLETCHER BUILDING LTD (ニュージーランド)	29	16,621	573	ARB CORP LTD (オーストラリア)	213.7	274,972	1,286
AUB GROUP LTD (オーストラリア)	17.9	12,654	706	NZX LTD (ニュージーランド)	3,470.084	268,781	77

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

(1) 外国株式

銘柄	期首	期末		業種等	
	株数	株数	評価額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
(オーストラリア)	百株	百株	千円		
3P LEARNING LTD	7,117	—	—	一般消費・サービス	
ISENTIA GROUP LTD	—	3,135	1,222	93,948	情報技術
VISTA GROUP INTERNATIONAL LT	—	1,891	1,172	90,088	情報技術
FLETCHER BUILDING LTD	5,956	3,007	3,022	232,213	素材
FISHER & PAYKEL HEALTHCARE C	7,111	3,994	3,750	288,178	ヘルスケア
SPARK NEW ZEALAND LTD	24,237	14,718	5,048	387,909	電気通信サービス
SUPER RETAIL GROUP LTD	4,242	2,279	2,372	182,298	一般消費・サービス
SAI GLOBAL LTD	8,564	5,546	1,991	152,989	資本財・サービス
CABCHARGE AUSTRALIA LTD	20,053	10,250	3,710	285,114	資本財・サービス
IRESS LTD	5,380	3,054	3,628	278,787	情報技術
INVOCARE LTD	6,840	3,391	4,781	367,395	一般消費・サービス
NIB HOLDINGS LTD	18,800	9,568	4,420	339,664	金融
AUB GROUP LTD	5,960	3,406	3,743	287,627	金融
AIR NEW ZEALAND LTD	19,393	11,606	2,060	158,295	資本財・サービス
ARB CORP LTD	5,297	3,160	5,716	439,251	一般消費・サービス
BAPCOR LTD	15,172	6,771	4,211	323,616	一般消費・サービス
BLACKMORES LTD	—	46	541	41,609	生活必需品
BRICKWORKS LTD	4,966	1,720	2,304	177,100	素材
RECKON LTD	12,764.28	—	—	—	情報技術
TECHNOLOGY ONE LTD	21,474	9,057	5,325	409,212	情報技術
VEDA GROUP LTD	11,592	—	—	—	その他
AUCKLAND INTL AIRPORT LTD	14,511	6,718	4,601	353,604	資本財・サービス
オーストラリア・ドル 通貨計	株数、金額 219,429.28 19銘柄	株数、金額 103,317 19銘柄	株数、金額 63,624 19銘柄	株数、金額 4,888,906 <79.0%>	

銘柄	期首	期末		業種等	
	株数	株数	評価額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
(ニュージーランド)	百株	百株	千円		
CDL INVESTMENTS NZ LTD	46,073.46	—	—	—	不動産
MILLENNIUM & COPTHORNE HOTEL	31,839.73	—	—	—	一般消費・サービス
NZX LTD	53,259.84	18,559	1,985	145,023	金融
ニュージーランド・ドル 通貨計	株数、金額 131,173.03 3銘柄	株数、金額 18,559 1銘柄	株数、金額 1,985 <2.3%>	株数、金額 145,023 <81.3%>	
ファンド合計	株数、金額 350,602.31 22銘柄	株数、金額 121,876 20銘柄	株数、金額 — <—%>	株数、金額 5,033,930 <81.3%>	

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) < >内は純資産総額に対する評価額の比率。

(注3) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 外国投資信託証券

銘柄	期首	当	期末	
	□ 数	□ 数	外貨建金額	邦貨換算金額
(オーストラリア)	千口	千口	オーストラリア・ドル	千円
VIVA ENERGY REIT	-	322.7	780	60,006
SHOPPING CENTRES AUSTRALASIA	3,257.3	2,320.3	5,081	390,459
BVWP TRUST	2,033.9	1,271	4,041	310,570
合計	□ 数、金額 銘柄数<比率>	5,291.2 2銘柄	3,914 3銘柄	9,904 761,036 <12.3%>

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) < >内は純資産総額に対する評価額の比率。

(注3) 評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2016年9月26日現在

項目	当	期	末	
	評	価	額	比
株式	5,033,930	千円	80.0	%
投資信託証券	761,036		12.1	
コール・ローン等、その他	496,394		7.9	
投資信託財産総額	6,291,360		100.0	

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、9月26日における邦貨換算レートは、1オーストラリア・ドル=76.84円、1ニュージーランド・ドル=73.03円です。

(注3) 当期末における外貨建純資産(6,149,552千円)の投資信託財産総額(6,291,360千円)に対する比率は、97.7%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2016年9月26日現在

項目	当	期	末
(A) 資産			6,291,360,745円
コール・ローン等			421,168,539
株式(評価額)			5,033,930,119
投資信託証券(評価額)			761,036,500
未収配当金			75,225,587
(B) 負債			101,300,000
未払解約金			101,300,000
(C) 純資産総額(A-B)			6,190,060,745
元本			5,554,652,723
次期繰越損益金			635,408,022
(D) 受益権総口数			5,554,652,723口
1万口当り基準価額(C/D)			11,144円

*期首における元本額は11,060,854,067円、当期中における追加設定元本額は0円、同解約元本額は5,506,201,344円です。

*当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、ツインアクセル(ブラジル国債&オーストラリア小型株式) <2021-01> 5,554,652,723円です。

*当期末の計算口数当りの純資産額は11,144円です。

■損益の状況

当期 自2015年9月29日 至2016年9月26日

項目	当	期
(A) 配当等収益		304,065,206円
受取配当金		301,953,750
受取利息		2,134,270
支払利息	△	22,814
(B) 有価証券売買損益		1,015,425,872
売買益		1,908,553,886
売買損	△	893,128,014
(C) その他費用	△	4,186,188
(D) 当期損益金(A+B+C)		1,315,304,890
(E) 前期繰越損益金	△	330,398,212
(F) 解約差損益金	△	349,498,656
(G) 合計(D+E+F)		635,408,022
次期繰越損益金(G)		635,408,022

(注) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。